



平成25年度

春日市地域活動指導員だより NO.96

平成26年2月28日

春日市教育委員会 社会教育課

TEL575-4121 fax593-7380

「地域で子どもを育てる実践発表会」開催



平成26年2月9日(日)、ふれあい文化センター旧館 大会議室で「地域で子どもを育てる実践発表会」を開催しました。

地域で子どもを育てる取り組みに関心をお持ちの100名を超える方々に参加いただきました。

アトラクションとして大土居・塚原台アンビシャス広場による日本舞踊の発表、春日小学校アンビシャス広場、上白水アンビシャス広場及び白水小おやじの会による実践発表が行われました。

また、福岡県の担当者による平成26年度アンビシャス広場活性化事業や通学合宿及び学生ボランティア派遣事業について説明がありました。

県の補助制度で利用できるものがあれば、積極的にアンビシャス広場活動に活用してくださいとのことでしたので、社会教育課からも広場関係者へPRしていきたいと思えます。



いずれの実践事例発表も、他広場や地域の方との交流の中で、子どもたちが成長していく過程や成果が実感できる発表となっていました。

参加者からは「これから自分の地域でも子どもを育てる活動へ取り入れていきたい」など意欲的な意見が多く寄せられました。

今後、地域で子どもを育てる活動へとつながっていくことでしょう。

大土居・塚原台アンビシャス広場による オープニングアトラクション

つむぎ恋唄



琴の舞



かわいらしい着物姿の舞に、会場から大きな拍手が送られました。

～アンビシャス宿泊交流イベント i n 諫早～ 地域間交流体験

春日小学校アンビシャス広場が発表された、八女福島アンビシャス広場との交流イベントは、県の地域間交流体験事業制度を利用したもので、8月に国立諫早少年自然の家で行われました。

初対面の子どもたちが自然の中での活動を通し、少しずつ打ち解けあいながら交流を深め、成長していく様子が見られました。子どもたちにとって、貴重な経験となったようです。

八女福島アンビシャス広場との交流は今後も継続していきたいとのことでした。



子ども会とアンビシャスとの連携 & 公民館キャンプの報告

上白水アンビシャス広場は、子ども会とアンビシャス広場との連携について発表されました。

子ども会とアンビシャス広場の違いや、抱えている問題点などを明確にし、二つの団体が連携することで、活動の幅を広げることができました。

今年度、初めて行われた公民館キャンプは、反省点もありましたが、子どもたちが自分たちで考え、実行し、色々なことを体験できる良い機会となりました。



子愛入魂

～すべては子どもたちの笑顔のために～

白水小おやじの会は、地域や学校の行事に積極的に参加し、～子愛入魂 すべては子どもたちの笑顔のために～を合言葉に、おやじパワーを存分に発揮し、地域の頼れる存在として活躍されています。

今回は、白水小学校でのダンボールハウスキャンプやバザーなど、今年度、地域や学校と連携しながら活動された内容を発表していただきました。

「おやじたちも自分の居場所や活躍できる場所を探しています。“ありがとう”の一言がとてもうれしいですね。」という言葉が印象的でした。

これからも子どもたちのために、活動を続けていただきたいと思います。

“子愛入魂” ～すべては子ども達の笑顔のために～



みんなの心が一つになった

春日小アンビシャス広場と交流できてよかった。

八女福島アンビシャス広場と交流できてよかった。



朝食も準備!

朝は静かです。

ようこそ ♪
K'sママカフェへ♡

かすが家庭教育学級では、様々な分野で活躍されている講師の方を招き、年間を通して楽しく学びながら学級生同士の交流を深めてきました。

今回、閉講式を前に、一年間学んできたスキルを活かした学級生プロデュースの交流会、K'sママカフェを開き、講座のふりかえりなどを行いました。

お茶とお菓子でちょっとしたカフェ気分を味わいながら、お気に入りのお店の話など身近な話題に華が咲き、楽しいひと時を過ごしました。

今度は実際にお気に入りのお店にみんなで出かけるとのこと。ママ同士の交流がこれからさらに深まりそうです。



春のふれあい体験王国



平成26年2月23日（日）に春のふれあい体験王国が開催されました。

ふれあい文化センターの新館ギャラリーと旧館の一部を使い、様々な体験ブースが設けられ、たくさんの親子連れでにぎわいました。



どんぐりコロコロ



グラウンドゴルフ



牛乳パックで作るカゴ



竹鉄砲

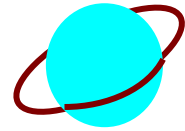


竹笛



ダーツ

きらり 春日の人



星の館ボランティアのみなさん

平成 23 年 4 月、星の館の開館と同時に活動が始まった、星の館ボランティア。

天文指導員とともに、来館者の対応や企画等にも携わっていただいています。

「もともと星空を見上げるのが大好きだったんですが、最初は星座のことなんて何も知らなかったんですよ。」とお話しいただいたのは、星の館ボランティアのメンバー 薛 芳子(せつよしこ) さん。

今では、星の館を訪れる方々に星のお話をしたり、工作教室の指導など、頼れるサポーターさんとして活躍されています。



「星の館を訪れる理由は、星空が好きというだけでなく、ここを心のよりどころとされている人もいらっしゃいます。星の館を訪れる人の夢や願いに寄り添えることに、やりがいを感じながら日々過ごしています。」とのこと。

太陽や月、また季節ごとに見える代表的な星ぼしを観察する子どもたちに人気のスタンプラリーや、惑星キャンドル(左写真)などの工作教室も行っています。

初めて星の館を利用される方はもちろんですが、リピーターの方にも喜んでいただけるような企画を用意していますので、きらり輝く空の星と、春日市ですてきに輝く『星の館ボランティアのみなさん』に会いに来てください。



学べる天文台

白水大池公園 星の館

【開館日】金・土・日(12/28~1/4を除く)

午後 2 時~午後 9 時

(6/1~9/15 は午後 9 時 30 分まで)

【入館料】無料(天文台での天体観望も無料)

※工作等の材料費は実費となります。

星の館では、星座解説のDVDや本を自由に閲覧できます。

双眼鏡・望遠鏡で星空をのぞくことができる「天体観望会」、子どもから大人まで「宇宙のふしぎ」を学べる講座や工作教室などを開催しています。

また、一緒に活動していただけるボランティアさんも、随時、募集しています。(高校生以上)

普段、なにげなく見上げている天体の謎やふしぎを星の館で探してみませんか。

【問い合わせ先】 星の館

住所：〒816-0842 春日市大字下白水 209-171

電話：092-558-9099

FAX：092-558-9023

アンビシャス広場や子ども会など、社会教育に関する情報は、春日市ホームページ内「教育・文化」⇒「学ぶ・楽しむ」からご覧いただけます。